

東京バッハ合唱団 2025

バッハの《クリスマス・オラトリオ》抜粋版による

クリスマス・コンサート

と シングイン

《クリスマス・オラトリオ》BWV 248、全 6 部 64 曲より、名曲を選びすぎりました。
都内の 2 教会を会場に、それぞれの形式(コンサート/シングイン)での開催です。



♪ Jauchzet, frohlocket, auf, preiset die Tage

♪ 喜べや このよき日を……

■ピエロ・デラ・フランチェスカ
「キリスト降誕」(15世紀)
英国ナショナルギャラリー蔵

◆三崎町教会、12/6(土)

コンサート形式 (200席)

14:00 開演 (開場 30 分前、終了 15:30 予定)

◆バッハ作品にふさわしい礼拝堂で、本物のクリスマス音楽をお楽しみください。作品中のレチタティーヴォ歌詞の朗読で、キリスト降誕の物語をはこびます。

◆入場無料、申込み不要(席数に余裕あります)

会場: 日本キリスト教団 三崎町教会 (裏面に地図)
(JR「水道橋」下車 東口 徒歩 3分)

◆荻窪教会、12/13(土)

シングイン形式 (50席)

14:00 開演 (開場 15 分前、終了 15:30 予定)

◆《クリ・オラ》ファンのみなさん、今年も出番です。楽譜ご持参で…(何語でも可)。もっぱらお聴きになる方も、大歓迎。歌唱部分の楽譜あり(頒価 200 円、荻窪会場のみ)

◆入場無料、申込み不要(満席の際はご容赦ください)

会場: 日本キリスト教団 荻窪教会 (裏面に地図)
(JR 中央線/東京メトロ「荻窪」下車 南口 徒歩 8分)

管弦楽: A R S (コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン)

オルガン: 田尻明葉 合唱: 東京バッハ合唱団

指揮: 松尾茂春

[協力] 三崎町教会(12/6)、荻窪教会(12/13)

[主催] 東京バッハ合唱団

Tel: 03-3290-5731

Mail: office@bachchor-tokyo.jp

HP <http://bachchor-tokyo.jp/> →



《クリスマス・オラトリオ》抜粋 2025 年版

- 1.合唱〈喜べや このよき日を いざ とともに〉
- 5.コラール〈いかに迎えん いかにまみえん〉
- 9.コラール〈いとしき み子イエス〉
- 12.コラール〈きよらの あげぼの 光を放て〉
- 17.コラール〈いぶせき厩に 光満ちて〉
- 19.アリア (A) 〈眠れ いとしき御子よ〉
- 23.コラール〈み使いとともに われら頌め歌わん〉

- 24.合唱〈あまつ君よ 聞きたまえ〉
- 25.レチタティーヴォ (T) 〈み使いら去りて 天に行きしとき〉
- 26.合唱〈いざや 目ざさん ベツレヘム〉

- 28.コラール〈主は 為したまえり〉
- 29.二重唱 (S/B) 〈主よ なが慈しみ〉
- 35.コラール〈喜べ み神は 今こそ〉
-
- 10.シンフォニア [器楽のみ]
- 36.合唱〈ささげん 頌め歌を〉
- 42.コラール〈イエス われを正し〉
- 46.コラール〈暗き夜は いま〉
- 53.コラール〈みやびの広間にも あらざるなれど〉
- 59.コラール〈ながかたえに立たん〉
- 63.レチタティーヴォ (SATB) 〈死の怖れは 消え〉
- 64.コラール合唱〈あだは 今しも〉

演奏者プロフィール

〔管弦楽〕ARS (コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン)

Cllegium Armonia Superiore Japan 2018年に誕生した演奏家のための研鑽団体(Collegium)。熱心な演奏愛好家と音楽専攻を目指す学生を対象に、緊密なアンサンブルによる“よりよき響き(Armonia Superiore)”を徹底的に追及することを目的とし、魅力的な指導者を招聘し、机上講習はじめマスタークラスや演奏会実践形式での研鑽を実施している。2019年に当合唱団の小布施・野尻湖コンサートツアーに有志が同行して以来、活動趣旨を共有して協演をつづけている。

〔オルガン〕田尻明葉(あきは)

東京音楽大学付属高校、東京音楽大学ピアノ科卒業後、桐朋学園大学カレッジディプロマコース、コントラバス科を卒業。ぎふリスト音楽院マスタークラスに参加。2010年別府アルゲリッチ音楽祭にオーケストラのメンバーとして参加。東京バツハ合唱団の第117回定期演奏会(2018年12月)に出演以来、多くの当合唱団公演にオルガニストとして協演している。当団練習伴奏者。

〔指揮〕松尾茂春

東京バツハ合唱団団員。長年団員として主宰者大村恵美子の薫陶のもとバツハを歌い、多くのバツハ作品に学ぶ。かたわら教会聖歌隊などを指揮し、作曲活動にも取り組む。自作の《キラキラ星変奏曲 Version 2.0》公演(2024年6月)では、独唱者、管弦楽団と当合唱団を率いて約70分の大作を指揮し、絶賛を博す。大村恵美子の引退を受け、現在、通常練習での指導にあたっている。

〔合唱〕東京バツハ合唱団

教会カンタータを中心に、受難曲、オラトリオ、モテット、ミサ曲などJ.S.バツハの合唱作品のみを演奏し、研究する団体として、1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。これまでに定期演奏会や各地教会等での特別公演など300回におよぶ公演を、原則として日本語訳詞上演(大村恵美子訳)によって果たしている。2022年に創立60周年を迎えた。創設者・大村恵美子は、2025年5月の第123回定期演奏会をもって、指揮と指導活動を引退した。

会場へのご案内

三崎町教会

〒101-0061
千代田区
神田三崎町1-3-9
(JR総武線「水道橋」駅
下車、東口徒歩3分)



荻窪教会

〒167-0051
杉並区荻窪4-2-10
(JR中央線/東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅
下車、南口徒歩8分)



東京バツハ合唱団 団からのお知らせ

<第124回定期演奏会>

(日本語演奏、二会場/同内容)

- ・カンタータ第10番《わが魂 主をあがめ》BWV 10
- ・カンタータ第196番《主は覚えたもう われらを》BWV 196
- ・カンタータ第20番《雷の言葉 おおなんじ永遠よ》BWV 20

[日時と会場]

- ① 荻窪教会、2026年5月30日(土)開演14:00
- ② 三崎町教会、2026年6月6日(土)開演14:00

[演奏]

指揮：山本悠尋(やまもと・ゆきひろ)
独唱：S/A/T/B(交渉中)

管弦楽：A R S (コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン)

オルガン：田尻明葉

合唱：東京バツハ合唱団

[参加と申込み]

参加無料、申込み不要

<団員募集>

左記公演では、バツハ作品の多様さと深さを一挙に体験します。盛期バツハ渾身の「コラールカンタータ年巻」から2曲(BWV 10と20)、みずみずしさ溢れる「初期カンタータ」(BWV 196)。わたくしたちはバツハ作品を日本語で歌っています。資格や経験は不要です。いちど、お気軽に見学にいらしてください。

**

- ・練習……毎週土曜日15:30-17:30、荻窪教会(日本キリスト教団)〒167-0051杉並区荻窪4-2-10(JR中央線/地下鉄丸ノ内線「荻窪」南口から8分)
- ・団費……5000円(月額)、入団金不要
- ・お問い合わせ(事務局) office@bachchor-tokyo.jp

**

新年練習開始は、2026年1月10日(土)からです。楽譜(当団発行、Breitkopf版底本)は練習場にてお求めいただけます。配送ご希望の方は、お申込みください。振替用紙同封にてお届けします。